

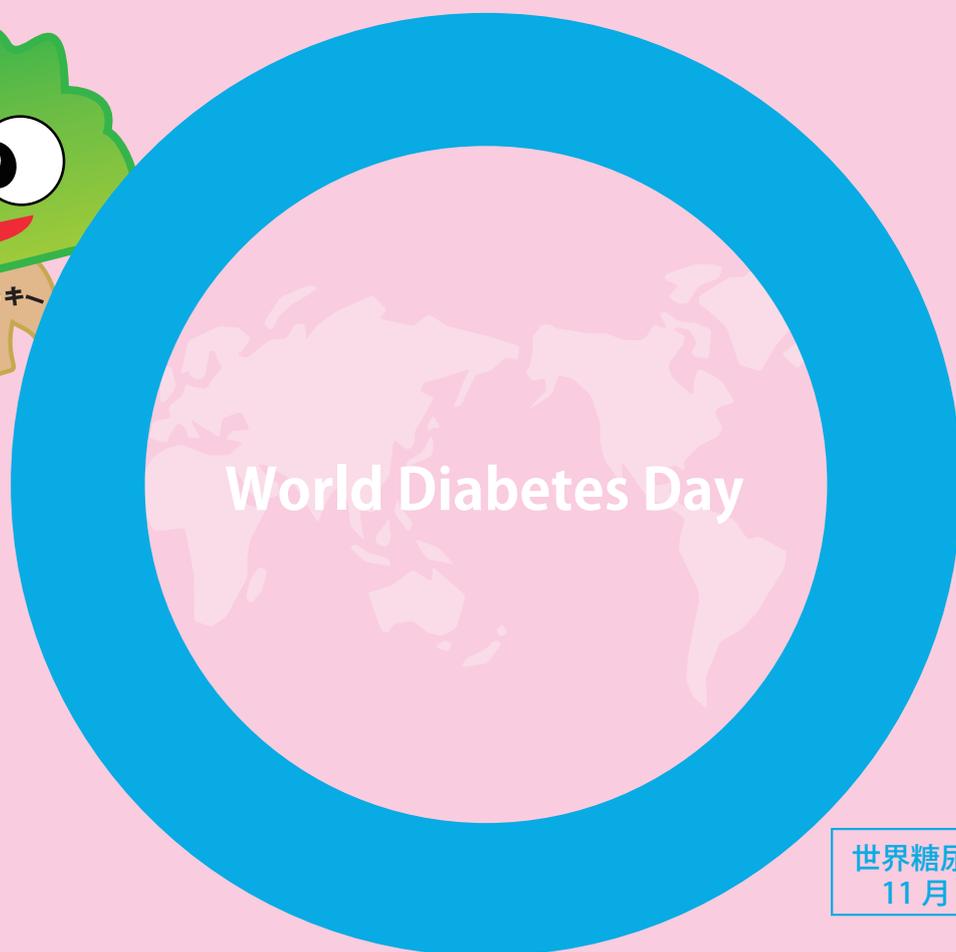
医療法人社団 三思医光会 くすの木病院

relation@

地域連携だより「りれーしょん」



オリジナルキャラクター
クッキー



世界糖尿病デー
11月14日

糖尿病内科

～入院環境を最大限に活用した糖尿病管理～



糖尿病内科

～ 入院環境を最大限に活用した糖尿病管理～

Profile

内科診療部
糖尿病・内分泌内科

高橋 春菜

TAKAHASHI HARUNA

日本内分泌学会 内分泌代謝科（内科）専門医
日本糖尿病学会 糖尿病専門医



平素より患者様のご紹介、ならびに、当科からの紹介の受け入れをしてくださり、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

現在、糖尿病・内分泌内科として常勤医1名、非常勤2名が勤務しており、火曜日を除く診療日に外来診療を行っております。消化器内科や肝臓内科、腎臓内科、循環器内科等、各専門外来もございますので、患者様の疾患に応じて連携を取ります。外来では必要に応じてCTやMRI検査、内視鏡検査等も施行可能です。糖尿病患者様への栄養指導も外来を中心に、積極的に行っております。

また、糖尿病教育入院については、未治療糖尿病の加療、血糖コントロール不良でのリセット目的他、インスリン導入など手技獲得のための入院にも対応いたします。入院環境を最大限

に活用した糖尿病管理で、患者様一人ひとりに合わせたきめ細やかな治療をしております。

入院だからできる「個別化されたサポート」

患者様は日常生活から一時的に離れ、病気とじっくり向き合う時間を得られます。この集中的な環境で、多職種で連携し、患者様を深くサポートしています。

【日々の生活に即した食事指導】

管理栄養士が患者様の食習慣や嗜好を聞き、具体的な献立例や食材選びのコツを指導。病院食で適切な量やバランスを体験し、退院後も実践できるイメージを持っていただきます。

【安全で継続可能な運動習慣の確立】

医師や看護師が患者様の身体状況や合併症の有無を把握し、無理なく続けられる運動方法を提

案しております。入院中に体を動かし、自宅で継続できる習慣を身につけます。

【正しい自己管理スキルの確実な習得】

血糖自己測定（SMBG）や自己注射が必要な患者様には、看護師がマンツーマンで手技を丁寧に指導いたします。疑問を解消し、安心して自己管理ができるようサポートします。

【薬剤への理解と安心感の醸成】

服用中の薬の効果や副作用、正しい飲み方について、薬剤師から詳しく説明があります。「なぜこの薬が必要なのか」を深く理解することで、治療への納得感を高め、アドヒアランス向上に繋がります。

【合併症予防の意識向上と実践】

糖尿病神経障害による足のトラブルや、眼・腎臓などの合併症リスクについて、具体的な予防策や日々のチェックポイントを指導。日頃からの意識づけが、将来の重症化を防ぐ大切な一歩となります。

入院管理がもたらす「未来への投資」

入院環境での糖尿病管理は、単に血糖値を下げることだけが目的ではありません。患者様が自身の病気を深く理解し、主体的に管理する力を養うことで、退院後の生活の質（QOL）を大きく向上させます。

【血糖コントロールの安定】

入院中の綿密な血糖測定と食事・運動・薬物療法の調整により、血糖値を安定させ、良い状態を維持するための基盤を築きます。これは外来では難しい、集中的なアプローチの賜物です。

【自己管理への自信】

専門スタッフからの実践的な指導と継続的なサポートを受けることで、「自分にもできる」という自信が芽生え、前向きに病気と向き合えるようになります。

【合併症の予防と早期発見】

疾患への理解が深まることで、合併症のリスクを自覚し、早期発見のための定期受診や日々のセルフチェックを継続する意識が高まります。

【充実した日常生活への回帰】

糖尿病と上手に付き合いながら、趣味や旅行、仕事など、これまでと変わらない活動的な生活を長く続けていただくための土台を築きます。入院中に得られる安心感と知識は、退院後の生活に大きな自信と活力をもたらします。

積極的に入院患者様を受け入れていきたいと考えておりますので、該当する患者様がいらっしゃれば、是非ご紹介いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

糖尿病・内分泌内科 外来予定

[午前] 受付時間 8:15~11:00

[午後] 受付時間 13:30~15:30

	月	火	水	木	金	第1・3・5土
午前	高橋		高橋		高橋	植原正 高橋(第3)
午後				植原良		

糖尿病患者様のご紹介を
お願い申し上げます

地域連携室 直通TEL
0274-37-2060

お電話受付時間

平日（月～金曜日）9:00～17:00
第1・3・5土曜 9:00～12:00



もっと伝えたい! 「栄養指導」

患者様が継続・習慣化できる栄養指導の実践

栄養科 主任 関口 直子

栄養科では、患者様の食事療法をサポートするために、現在3名の管理栄養士が個別栄養指導を行っています。その際に重視していることは、患者様が継続・習慣化できる栄養指導を実践することです。入院時に普段の食事内容や食生活を詳しく聞き取り、そこから食生活における問題点を発見し、改善方法を一緒に考えていきます。患者様には長年培った食習慣や嗜好があり、ライフスタイルも異なるため、一方的な嗜好品の禁止やカロリーの話をするわけではなく、個々の生活状況や意欲に合わせての栄養プランをご提案することで、無理なく取り組んでいただける食事指導を心がけています。



入院食は、退院後の食事をイメージしやすくするための教材の一つです。主食・副食量、味付けは患者様によっては物足りなく感じることも少なくありません。しかし、実際に口にする体験は資料を用いた説明より記憶に残り、退院後も参考にされている方が多くいます。退院後は必要に応じて栄養指導を行い、継続してサポートしていきます。

地域連携室

主なお問い合わせ内容

- 緊急を要する患者様のご紹介
- 外来受診予約
- 転院のご紹介
- 相談員宛のお問い合わせ
- その他 地域連携室宛のご相談

お電話受付時間

平日 (月～金曜日) 9:00～17:00
第1・3・5土曜 9:00～12:00

直通TEL : 0274-37-2060

直通FAX : 0274-22-2288

Eメール : relation@kusunoki-hp.com

当院からの情報発信(外来予定表改訂、広報誌発行等)をメールでお受取りになりたい場合は、上記メールアドレスへご連絡ください。

わたしたちが対応いたします



地域連携室 係長
すかわ なみこ
須川 奈美子



地域連携室 看護師
きた ゆき
喜多 由貴



地域連携室 事務
ざわいり さちこ
澤入 幸子



relation@

2025年秋号

2025年10月発行 Vol.13



医療法人社団三思医光会 くすの木病院 広報委員会
〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡607-22
TEL : 0274-24-3111 (代表)
Homepage : www.kusunoki-hp.com